

大谷小中学校だより

NO. 8
令和2年10月9日
珠洲市立大谷小中学校

令和2年度 学校評価書(中間評価) 7月実施した各種アンケート集計結果を基に、評価していただきました。

重点 目標	外部アンケート			自 己 評 価		評 価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
	保護者アンケート	A+B	児童生徒アンケート	A+B	達成度評価基準		
1 確かな学力の向上	学校は、学力向上に努力している。	86.1	各教科の授業内容はよくわかる。 (全教科平均)	94.3	◆授業アンケート (全教科平均) ◆児童生徒アンケート ◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○	○他者の発言について感想・意見などで反応を返していると答えた児童生徒は97.0であった。ペア活動やグループ活動等で話し合う活動を取り入れ、児童生徒同士の対話を大切にした成果と考えられる。 ○課題について自分の考えを書いていると答えた児童生徒は、今回の児童生徒アンケートの中では、低い数値である。話し合う活動の時間を多く設定しているため、自分の考えを書く時間を十分にとることができていないことが原因と考えられる。 ●児童生徒が自分の考えをもつことができるように、授業者が「どのような課題を設定するか」を吟味する。
			課題について自分の考えを書いている。	90.7			
			自分の考えを授業で1回発表をしている。	93.3			
			他者の発言について感想・意見などで反応を返している。	97.0			
			複数の資料を活用して、自分の考えをまとめている。	85.9			
			振り返りを書いている。	93.9			
			話し合う活動を通じて、自分の考えが深まっている。	92.6			
			表現したり、発信したりする力がある。	90.2			
	子どもは、家庭学習の習慣がある。 (前期30分、中期60分、後期90分)	66.4	毎日の課題や宿題を提出している。	90.2	◆児童生徒アンケート ◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	△	○課題や宿題の提出に関しては、90%を超えており、安定して課題や宿題を提出することができていると考えられる。 ○家庭での学習時間に関しては、保護者・児童生徒ともにポイントが低い。適切な課題、宿題の量になっていないことが考えられる。 ●家庭学習が充実するように、子どもたちとこれまでの家庭学習を見直し、改善を図る。
			予習を行っている。	34.3			
			毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。 (前期30分 中期60分 後期90分)	87.2			
	子どもは、睡眠を7時間以上とっている。	78.5	睡眠を7時間以上とっている。	84.0	◆児童生徒アンケート ◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○	○朝食を食べている生徒の割合は高く安定している。また、睡眠時間を7時間以上とっている児童生徒は、84%で、昨年度よりポイントが向上している。家庭の力が大きいと考えられる。 ○家庭内でルールを作っている家庭が92.6%で昨年度よりポイントが向上した。また、ノー画面デーに取り組んでいるの項目でも向上が見られ、児童生徒本人と家庭のインターネット等への意識の高まりの結果だと考えられる。 ●ネットトラブル等に関する保護者・生徒対象の講演会等を継続する。
	子どもは、朝食を食べている。	97.2	朝食を食べている。	93.3			
	子どもは、決まりを守って生活している。	82.4	*	*			
	保護者として、SNS・ゲーム・インターネットの家庭内のルールを作っている。	92.6	ノー画面デーに取り組んでいる。	94.2			
	保護者として、珠洲市ルール(9時以降はしない)や、家庭内ルールを守らせている。	77.5	*	*			

重点 目標	外部アンケート				自 己 評 価	評 価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)			
	保護者アンケート	A+B	児童生徒アンケート	A+B	達成度評価規準					
2 主体的に行動できる児童生徒の育成	子どもは、喜んで学校に行っている。	87.0	学校へ行くのが楽しい。	74.5	◆児童生徒アンケート ◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○	○学校へ行くことが楽しいと感じている生徒が8割に達していない。 ○児童生徒会活動や委員会活動を行うことにやりがいを感じている生徒の多くは、リーダーを担う児童生徒だと考えられる。 ●学校行事や児童生徒会活動を行う達成感を味わうことができるよう、委員会の中で一人ひとりに役割を与え、役割を全うすることの大切さを意識させる。 ●児童生徒会活動や委員会活動において、子供たちが決めたことを教員はサポートし、継続することを見守り、最後までやりきらせることが大切である。			
			部活動で自分は鍛えられている。	75.0						
			児童生徒会活動や委員会活動はやりがいがある。	84.7						
	学校は、子どもが協力して課題を解決する学習に積極的に取り組んでいる。	96.3	難しいことにも、失敗を恐れないで挑戦している。	77.3				◆児童生徒アンケート ◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	△	○挨拶に関しては、子どもの捉えと保護者の捉えにギャップがある。あいさつの声が小さいことに原因があると考ええる。 ●特に、気持ちの良い（大きな声）挨拶を心掛けるよう集会等で指導する。 ○将来の夢を持っている生徒が6割程度である。夢を大きく捉え、職業と関連付ける傾向が影響していると考ええる。
	子どもは、自分から家族や地域の人に挨拶ができる。	76.9	地域の人たちにきちんとあいさつができています。	90.2						
	子どもは、家の手伝いをしている。	46.0	*	*						
	子どもは、将来の夢や希望をもっている。	61.5	将来に対する夢や希望を持っている。	63.8						
	学校は、生徒理解に務め、適切に対応している。	100	自分にはよいところがある。	75.6						
			自分を褒めたり、叱ったりできる。	76.8						
			先生方は、いじめやトラブルに対し、すぐに対応してくれる。	89.8						
			思いやりの心を持って、級友などの接している。	86.5						
			自分のまわりには、いじめや仲間はずれはいない。	93.3						
			先生や友達に褒められたり認められたりすることがある。	83.8						
	保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	82.8	*	*	◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：85%以上 △：80%以上 ×：80%未満	◎				
	保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	96.3	*	*						

重点 目標	外部アンケート				自 己 評 価	評 価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
	保護者アンケート	A+B	児童生徒アンケート	A+B	達成度評価規準		
3 保護者・地域との絆	学校は、児童・生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	96.3	いろいろな悩みについて、先生は相談にのってくれる。	81.0	◆保護者アンケート ◆児童生徒アンケート ◎：90%以上 ○：85%以上 △：80%以上 ×：80%未満	◎	○保護者アンケートでは、どの項目も96%以上と高い。HPに毎日の児童生徒の様子を載せるなど、学校の様子をリアルタイムに知らせた成果である。 ○児童生徒アンケートでは、悩みに友だちは相談にのってくれるかは、78%で低い。悩みの数が少ないことや少人数のため相談しにくいことが原因と考えられる。 ●少人数の利点を生かし、児童生徒のわずかな変化も見逃さず、日頃から対話を大切にす体制を重視する。 ●文化祭や総合的な学習の時間の成果を地域の方に発表する。
	学校は、通信等で方針や児童・生徒の様子をわかりやすく知らせている。	96.3	*	*			
	保護者として、学校からの通信に目を通している。	96.3	学校だよりなど、学校からのおしらせを必ず家の人に见せている。	86.8			
	学校は、ふるさとを大切にする学習に積極的に取り組んでいる	96.3	地域の行事やボランティア活動に参加している。	88.4	◆保護者アンケート ◆児童生徒アンケート ◎：90%以上 ○：85%以上 △：80%以上 ×：80%未満	◎	○保護者アンケートでは、どの項目も評価が高い。保護者の学校への協力体制が手厚いことや通知表渡しを休日に行うなど、保護者の声を活かしたことが原因と考えられる ●どうすれば地域に笑顔や元気をとどけることができるのか、学活や集会等を利用して考え実行させる。
	学校は、授業参観や行事等で保護者が参加しやすいようにしている	100	*	*			
4 働き方改革	自 己 評 価				達成度評価規準	評 価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
	教職員アンケート	A+B					
	時間を意識し、見通しをもって仕事ができている	75.0	*	*			
	20時までに退校できている ※昨年度は19:00	83.3	*	*	◆教職員アンケート ◎：90%以上 ○：85%以上 △：80%以上 ×：80%未満	△	○20時までの退校は8割に達しているが、時間が勤務時間には、格差がある。 ●管理職と業務担当との双方向のチェックと打合せを早めに行い、余裕のある業務遂行を目指す。と同時に、業務の平準化をすすめる。



評価委員のみなさまからのご意見

【1. 確かな学力の向上】

Q：家庭学習については、昨年度よりポイントが下がっているが対策をどう考えているか。

A：子供たちの考えも取り入れ、家庭学習を見直していく。

Q：授業で辞書は使っているか。

A：後期課程は教室に「国語辞典」「漢字辞典」等を置いてあり、活用している。

（意見）各種学力テストの結果を見ると、3年生から7年生（5年生は除く）のパーセント（数値）が気になる。クラス的人数が少なく、パーセント（数値）だけでは判断できないところもあるだろうが・・・

【2. 主体的に行動できる児童生徒の育成】

Q：いじめがないと言っている児童生徒は93.3%だが・・・

A：いじめについては把握している。関係機関とも連携し対応している。

Q：あいさつの大切を、子供たちは実感できているか。

A：あいさつの必要性が子供たちに分かってもらえるように集会等を活用して話していく。

Q：「夢や希望を持っている」と回答する子どもたちが少ないように思う。

A：子供たちは、将来の職業と結びつけていると考えられる。「より良い自分づくりに頑張っている」という身近な視点で自分を見つめさせたい。

（意見）・あいさつについては気になる。声が小さいと思う。先生がいる時といない時で大変違う。
・保護者がして見せる必要がある。
・家庭でのあいさつや会話が大切である。

【3. 保護者・地域との絆】

（意見）学校からの情報伝達だけでなく、家庭でどれだけ子供の話をきいているかが大切である。

【4. 働き方改革】

（意見）・先生方の勤務時間が長くないように工夫してほしい。

・以前より、退校時刻が早くなっているように思う。

【その他】

Q：教科書等を入れたカバンは10kg以上あるのではないか。

A：検討したい。

（意見）・アンケート作成は、保護者が行うことが大切かもしれない。
・学校教育目標を支える3本の柱でアンケートを作成すればどうか。

たくさんの前向きなご意見をありがとうございました。

保護者地域の方々にとって、大切な学校であり、たくさん支えて頂いていることにあらためて感謝した次第です。

保護者の方でアンケートを作成したいというご意見は、保護者が育てたい子ども像、学校像を明らかにしていく上で、とても貴重なご意見と受け止めています。

保護者、地域の方々と学校とが目指すべきことを共に考える良い機会となるものと確信しています。